

会員各位 殿

2022 年 11 月 30 日  
NPO 法人日本脳神経血管内治療学会  
理事長 宮地 茂

「先端可動型マイクロカテーテル」の頭蓋内血管に対する適正使用について

手元の操作で先端角度を変えられるマイクロカテーテル「販売名:ステアリングマイクロカテーテル」の頭頸部領域における適応に関して、2022 年 11 月 10 日付けで薬事承認(承認番号:22600BZX00482000)されました。本機器は従来のマイクロカテーテルとは別の機能区分となります。

本品の保険適用にあたり、本品の適用が妥当と考えられる対象症例を定め別紙「適正使用指針」を策定しましたので、本指針内容をご確認の上、適正に御使用されるよう、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

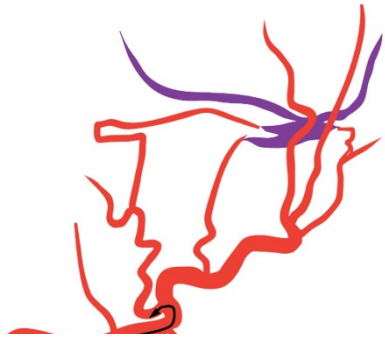
## 別紙

### 先端可動型マイクロカテーテルの頭蓋内血管に対する適用指針

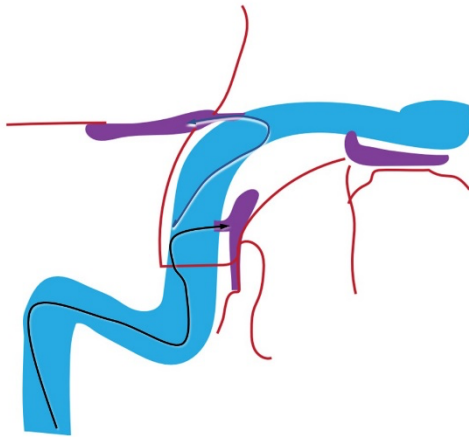
本機器の頭頸部および頭蓋内血管への適用は以下のケースとする。

- 1) 従来のマイクロカテーテルと、マイクロガイドワイヤを用いて、標的血管への挿入を試みたが、標的血管へ到達できなかった場合
- 2) 術前の造影等の検査の結果、標的血管または標的血管に到達するまでの血管が急峻な角度で起始する、太い親血管から細い標的血管に挿入する等、解剖学的理由により、従来のマイクロカテーテル・マイクロガイドワイヤシステムでは標的血管への到達が技術的に困難である場合（下記タイプ1、2参照）
- 3) 親動脈または主要分枝が脳動脈瘤より起始する大型脳動脈瘤症例で、親動脈遠位部または主要分枝へのカテーテル挿入の際に従来のマイクロカテーテル・マイクロガイドワイヤシステムでは挿入不能または困難である場合（下記タイプ3）。（本先端可動型マイクロカテーテルは先端形成時にマイクロカテーテル先端部の硬度が増すことから、硬膜内血管における使用においてはその適応を慎重に検討すること）

タイプ1



タイプ2



タイプ3

